

令和7年度熊本市新庁舎整備に関する市民アンケート 報告書【概要版】

《 目 次 》

1. 回答者の基本情報.....	1
2. 本庁舎等の利用状況.....	1
3. 新庁舎（本庁舎及び中央区役所）の方向性.....	2
4. 市民利用スペースに求める機能.....	3
5. 本庁舎移転後の来庁手段.....	4

《 調査概要 》

（1）調査の目的

新庁舎の目指すべき姿を具体化し、特に新庁舎内に整備を予定している市民交流や憩いの場となる市民利用スペースの整備方針を検討する際の参考とするため、市民の皆様のご意見を伺うもの

（2）調査期間

令和7年（2025年）5月20日～令和7年（2025年）6月10日

（3）調査方法及び調査対象者

- ・熊本市在住の満18歳以上の男女2,000人（住民基本台帳より無作為抽出。外国人含む）
- ・郵送法（郵便による調査票配布・回収）及びWEBアンケートによる回収

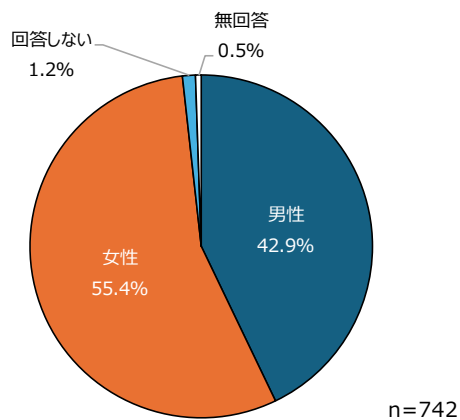
（4）有効回収数（有効回収率）

742人（37.1%）（調査票の返送による回答494票・アンケートシステムで回答248票）

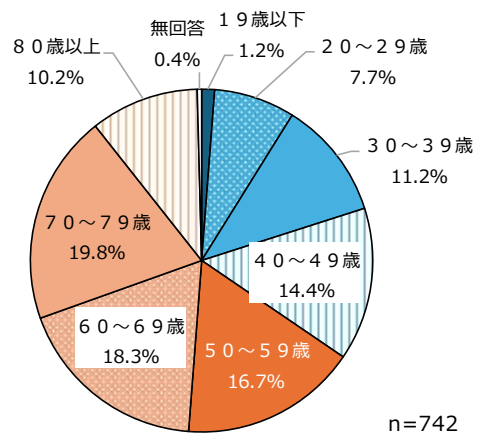
令和7年8月
熊本市

1.回答者の基本情報

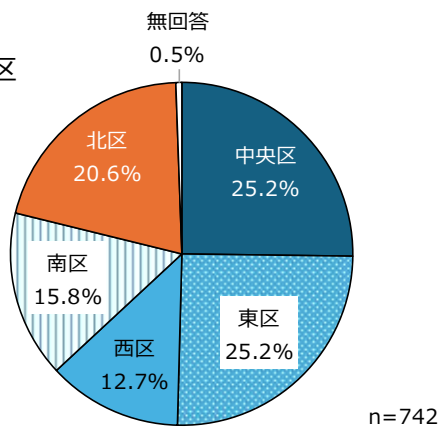
(1) 性別



(2) 年齢



(3) 居住区

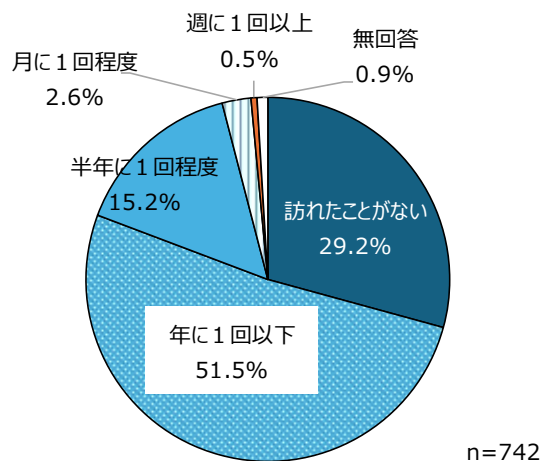


2. 本庁舎等の利用状況

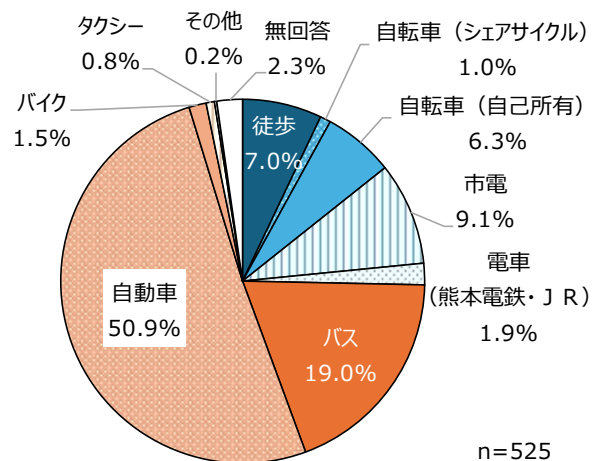
◆現在の本庁舎及び中央区役所の利用頻度は、「年に1回以下」が51.5%と最も高くなっている。

◆主な交通手段は「自動車」が50.9%と最も高くなっている。

本庁舎の利用頻度



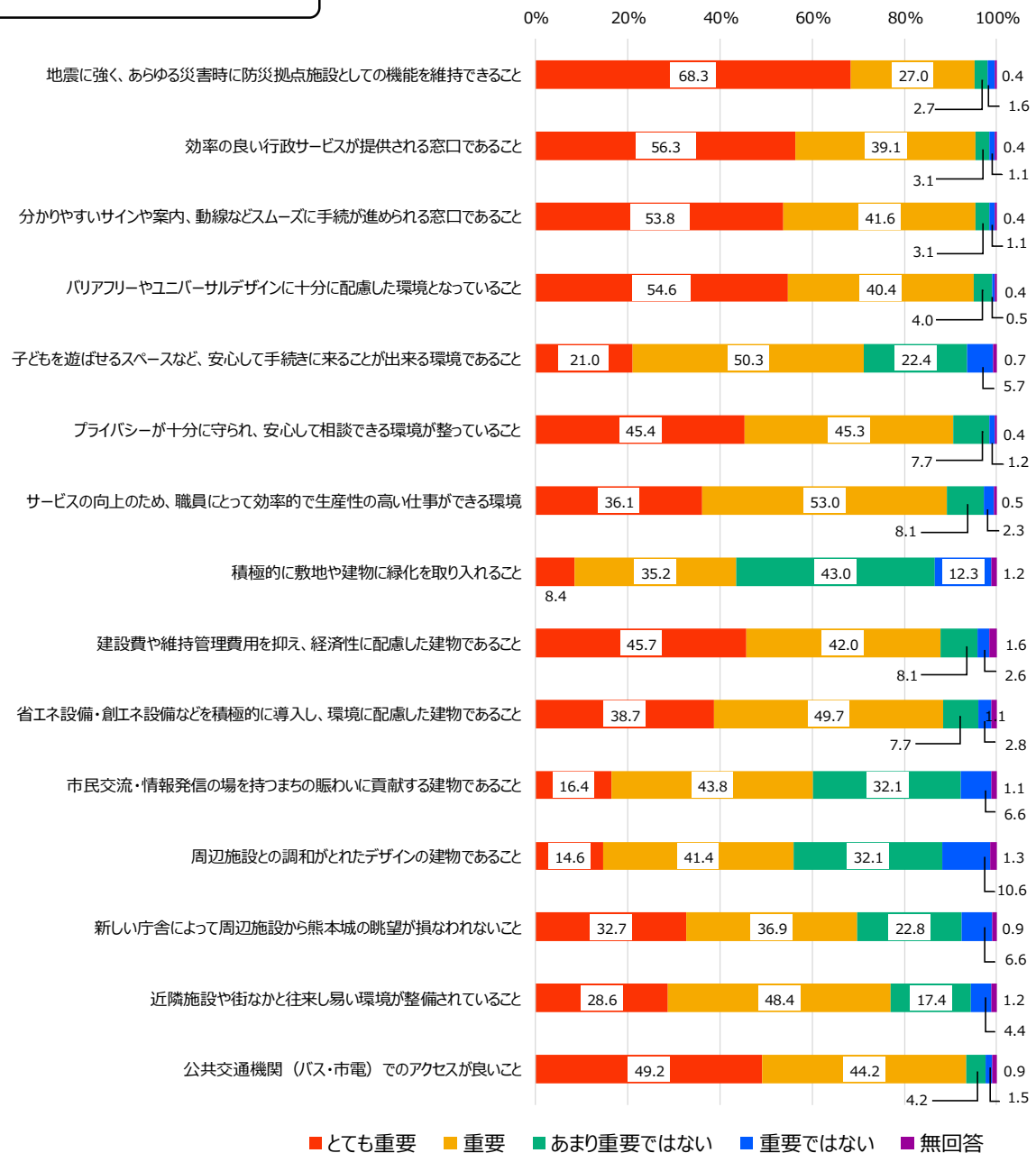
本庁舎への主な交通手段



3. 新庁舎（本庁舎及び中央区役所）の方向性

- ◆新庁舎（本庁舎及び中央区役所）の方向性について、「とても重要」の割合は、「地震に強く、あらゆる災害時に防災拠点施設としての機能を維持できること」が68.3%で最も高い。
- ◆「とても重要」と「重要」を合わせた割合は、「効率の良い行政サービスが提供される窓口であること」、「分かりやすいサインや案内、動線などスムーズに手続きが進められる窓口であること」、「地震に強く、あらゆる災害時に防災拠点施設としての機能を維持できること」などの項目が9割を超えている。

新庁舎整備の重要度

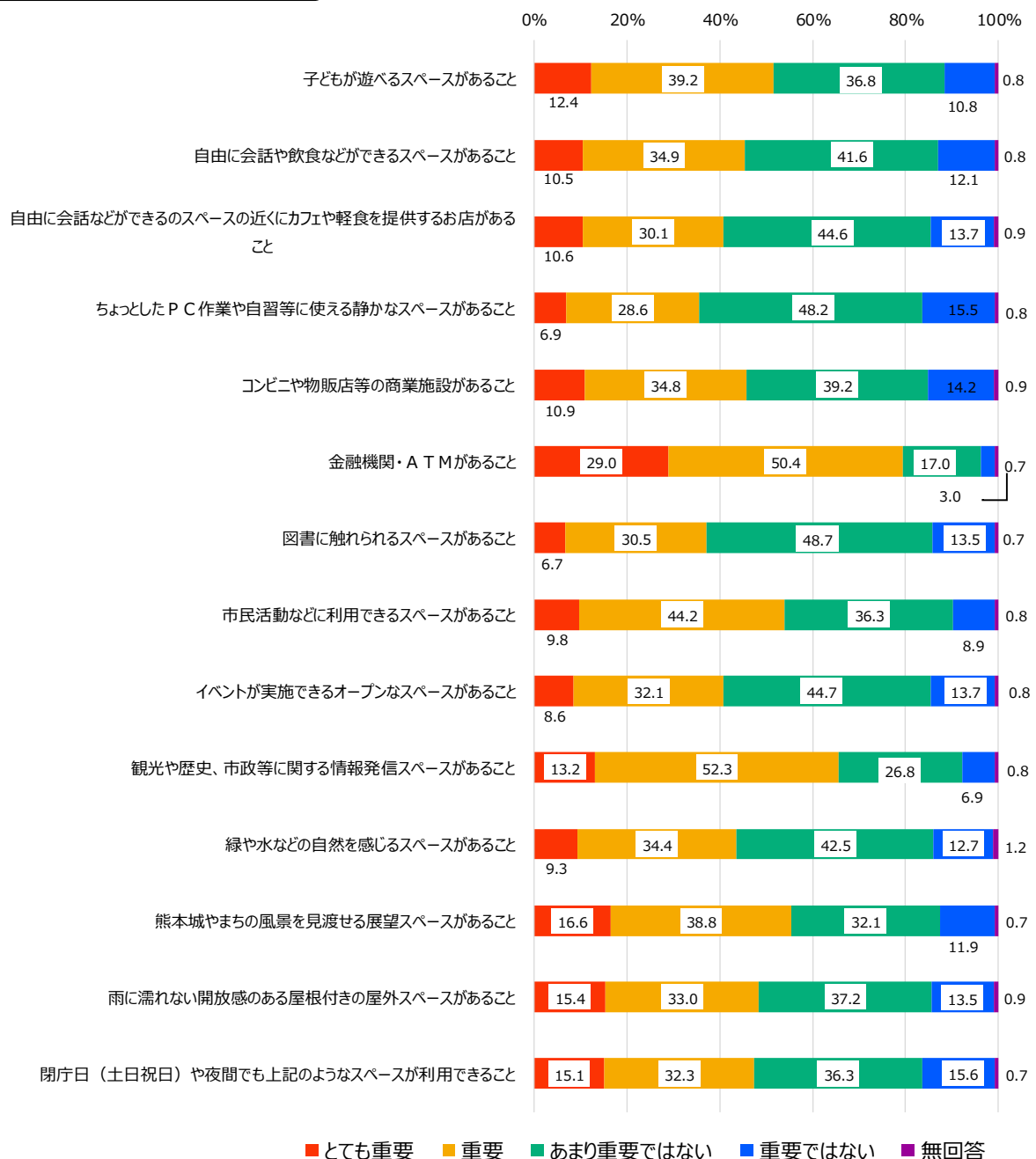


※掲載範囲の都合上、一部項目の文章を短縮しています。

４．市民利用スペースに求める機能

◆市民利用スペースの機能導入の重要度について、「とても重要」の割合は、29.0%、「とても重要」と「重要」を合わせた割合は79.4%でどちらも「金融機関・ＡＴＭがあること」が最も高くなっている。

市民利用スペースの機能導入の重要度



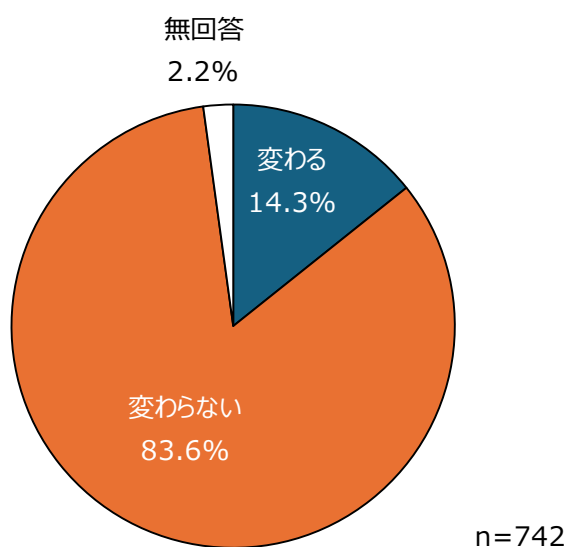
※掲載範囲の都合上、一部項目の文章を短縮しています。

5. 本庁舎移転後の来庁手段

◆本庁舎等の移転後の来庁手段について、現在の庁舎への主な交通手段から変わるかを尋ねると、「変わる」の割合は14.3%となっている。

◆本庁舎等の移転後の来庁手段が「変わる」と回答した人に、本庁舎等の移転後の来庁手段として考えられるものを尋ねたところ、「バス」の割合が41.5%と最も高くなっている。

本庁舎等の移転後の来庁手段



本庁舎等の移転後の来庁手段

